

活きた輸出情報ネットワーク構築事業

【60,963(50,708)千円】

対策のポイント

国内における展示・商談の場や情報収集の場の提供等により、農林漁業者等が国内外のバイヤーや輸出先駆者等から活きた輸出情報を収集するためのネットワークを構築します。

<平成19年度における輸出オリエンテーションの会の開催状況>

	開催地	参加人数	海外から招聘した輸出促進サポーターの商圏
11月7日	岡山市	160名	シンガポール、タイ、マレーシア、中国（香港）、台湾
11月13日	仙台市	122名	マレーシア、中国（北京、上海、香港）、台湾
11月14日	新潟市	77名	マレーシア、中国（北京、上海、香港）、台湾、米国
11月16日	名古屋市	134名	中国（北京、香港）、台湾、米国
11月20日	大阪市	166名	シンガポール、中国（香港）、台湾、韓国
11月30日	東京都	97名	中国（上海、香港）
12月5日	札幌市	128名	シンガポール、タイ、ドバイ、中国（香港）、台湾、米国
2月26日 （予定）	熊本市	—	—

政策目標

農林水産物・食品の輸出額を平成25年までに1兆円規模とする

<内容>

1. 輸出促進サポーターの発掘・登録
意欲ある農林漁業者等に対し協力してもらえる輸出先駆者や国内外のバイヤー等を輸出促進サポーターとして発掘し、人材バンクに登録を行う。
2. 農林水産物・食品輸出促進セミナーの開催
意欲ある農林漁業者等が、輸出促進サポーター等から活きた輸出情報等が得られるよう、全国各地で輸出促進セミナーを開催する。
3. 輸出オリエンテーションの会の開催
意欲ある農林漁業者等が、輸出促進サポーター等から助言等が得られるよう、輸出オリエンテーションの会（展示・商談会等）を開催する。

<委託先>

民間団体等

<事業実施期間>

平成19年度から平成21年度まで

〔担当課：大臣官房国際部貿易関税チーム輸出促進室 電話 03-3502-3408〕

輸出オリエンテーションの会の概要(実施事例)

中国四国農政局管内での実施事例

日 時：平成19年11月7日（水）

場 所：岡山県岡山市

展示・商談会	すぐに輸出に対応できる61名の農林漁業者、食品産業界が参加し、国内外の15名のバイヤーと商談を実施（商談件数154件）
輸出産品発掘会	47名の農林漁業者、食品産業界が参加し、在日外国人（留学生等）やバイヤー等総勢37名に試食をいただき、輸出可能性のある商品を発掘

展示・商談会の模様



ゆず・柿等の果実加工品、練り製品等の水産物加工品など、中国四国地方9県の特産品が持ち寄られ、国内外のバイヤーに対しアピールが行われました。いくつかの品目については、実際の輸出に向けてバイヤーから興味を示されたものがありました。

輸出産品発掘会の模様



中国、マレーシア等の方々に、特産品や特産品を使った料理が振る舞われ、参加者との意見交換が行われました。「若干の参加者からは、「今後の方向づけに役立った」、「若干の工夫が必要と分かった」などのコメントがありました。